

チンミー (サンバ) が鳴く頃
米の収穫が始まる

沢岬男ウエーダ空一ウ物語

むんがたい

自然の恵みで授けられるお米の作り方を忘れてしまった現代人に、
琉球先人達から、過去に眠る未来への生き抜く知恵の贈り物

おもろさうし (初版1531年) が編集されるより以前から存在した
沢岬のアマウエーダ (天親田)。ターブックワー (田んぼ) として
使用する泉を探し耕作と種まき、そして稲の刈り取りと収穫
までの稲作の過程をたどる幻の39句の古謡。

～聖なる歌謡オモロ～

地域の人々が集まり神聖な儀式
として田んぼに稲の苗を植える
アマウエーダが行われた



琉球国王が参拝した聖地の旅

男ウエーダ空一ウ

～一粒の米から始まる物語～



沖縄の稲作発祥の地を訪ねる!



お米は自然の神々からの恵み

● 音の記憶はすべて物語に変わる

過去に眠る未来



● 現在残っている地域は浦添市沢岬・南城市玉城の2か所のみ。



● 稲作発祥の聖地巡り



● 仲村渠ヒージャー



五穀豊穰は一粒の米から始まる

ごこくほうじょう



● 神々への祈りと感謝を捧げる儀式の始まり



● るいーまーるぬ心 (くるる) を学ぶ

しまくとうばを主に
使う人
県内 **3.8%**

～音 (うとら) 結 (ゆ) いぬ契 (ちじ) り～

アマウエーダよー、米 (くみ) ぬわーちゃーがーユイ!!

古謡 男ウエーダ空一ウ で親先祖とつながる

ていんち とうゆ うふすー
天地豊響む大主人かい
かふー にげ うがみ
果報ぬ願えむん拜やびら

